



【お知らせ】

‘PF-NOTEv2’ 好評貸出中!!



クリッカーを利用した実習コミュニケーションツール‘PF-NOTEv2’を導入しました。クリッカーによるレスポンスを組み込んだ録画内容の即時再生が可能で、講義、臨床実習、シミュレーション実習、模擬患者実習など多様なシーンで活用できます。録画機能やクリッカーを用いたアンケート・小テスト機能のみでの利用も可能です。ご予約は医療教育統合開発センターまで。

4月に『AccuTouch 講習会』を開催予定です!



12月・1月に開催し、ご好評いただいたバーチャルリアリティ内視鏡シミュレーター‘AccuTouch’を用いた『岡山大学方式内視鏡講習会』を平成24年度4月以降にも開催予定です。詳細が決まり次第、ポスター・ホームページ等でご案内します。(光学医療診療部・岡田裕之先生、呼吸器内科・久本晃子先生)

エコー購入しました!



穿刺シミュレーターを用いた教育でご利用いただけるようポータブルのエコー2台を導入しました。教育の場で活用下さい。ご予約は医療教育統合開発センターまで。

『災害医療セミナー』を開催いたします!



2月27日(月)19時からグランヴィア岡山4階フェニックスにて『災害医療セミナー』を開催します。東日本大震災から間もなく1年が経過しようとしています。ここ岡山でも災害に対する認識を忘れることのないよう、さらには医療従事者としていかなる心構えで災害に備えるべきか東京医科歯科大学大学院医学総合研究科救急災害医学分野 教授 大友 康裕先生をお迎えして『災害医療体制の現状と課題について』ご講演していただきます。入場無料でどなたでもご参加いただけます。皆様、奮ってご参加下さい。



【ご報告】

『中四国 模擬患者フォーラム』を開催しました!



1月28日(土)入院棟カンファレンスルーム C にて開催しました。遠方からの参加者も多く、模擬患者同士の繋がりが持てたとご好評いただきました。

『‘SimMan® 3G’ イントロダクションコース』を開催しました!



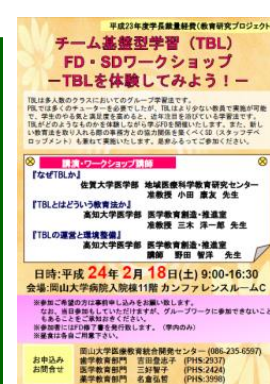
1月21日(土)・22日(日)の2日間、成人シミュレーター‘SimMan3G’の導入実習を行いました。臨床機能の確認や端末の操作方法、シナリオプランニング方法を中心に学びました。麻酔科、救急科、看護部、医療教育統合開発センターの先生方をはじめ計13名が参加しました。

『災害医療ミニワークショップ』を開催しました!



2月10日(金)、11日(土/祝)創立五十周年記念館にて『災害医療ミニワークショップーエマルゴを使ったシミュレーショントレーニング』を開催しました。2日間で20名の参加があり、参加者はそれぞれのボードに別被災者に見立てたマグネット人形を使用して多数傷病者発生時の対応について演習しました。ご参加下さいました皆様ありがとうございました。

『チーム基盤型学習(TBL) FD・SDワークショップ』を開催しました!



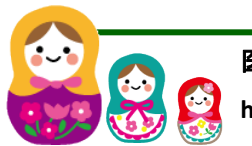
TBLに造詣が深い3名の講師をお招きし、医療薬学から17名が参加しました。実際にTBLを体験したり、教育事例などを拝聴しながら、TBLとはどのような教育法なのかを学び、TBLへの理解を深めました。

医療教育統合開発センターのホームページでは学内、院内の各シミュレーションラボをご紹介しています

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/cdmhe/>

医療教育統合開発センター

検索



【ご報告】

Office of Medical Education, University of Hawaii に 研修に行ってきました！



10月から約2カ月間、ハワイ大学医学部に医学教育の研修に行ってきました。主に1年目の医学生の授業や実習に参加し、3・4年生の臨床実習やカリキュラム委員会などにも参加させていただきました。授業はPBLとLectureのhybrid形式ですが、Lectureも双方向性で学生も生き生きとしていました。そして、教育者としてのあり方について先生方とお話することができたのが、一番の収穫でした。岡山大学の学生さん決して劣ってはいません。学生が楽しくて仕方がない授業をすること、いかに学生のやる気スイッチを押すかが今後の私の課題です。教育センター 三好智子

臨床実技入門実施しました！



臨床実技入門(採血・静脈留置/胃管挿入/導尿演習)を保健学研究科看護学分野、看護部、医療教育統合開発センターで連携して演習を行いました。指導計画書の作成、演習内容や演習手順の確認、物品手配などの打合せを重ね、演習では保健学研究科や泌尿器科の先生方、看護部の方々、多くの皆様にご協力を賜りありがとうございました。採血・静脈留置演習では医療教育統合開発センターの採血・点滴シミュレーターを活用しました。

研修医OSCE、お手伝いしました！



2月11日(土)に岡山大学病院で行われた研修医OSCEへ参加しました。急変時対応(Night on Call)のステーションで成人シミュレーター' SimMan3G' を操作し、演習をサポートをしました。

【山陽路・高度医療人養成プログラム平成23年度状況報告】

派遣予定:1名

<2月27日(月)~3月9日(金)のうち月・水・金のみ>(広大へ整形外科:1名)

派遣済:9名

<8月27日>(川大へ救急科:計5名 医員等3名、指導医2名)

<11月25日、26日>広大「スタンフォード大学 専門医研修指導広島セミナー」に参加
(泌尿器科:1名、地域医療人材育成講座:1名、卒業臨床研修センター:1名、中央検査部:1名 計4名)

受入済:4名

<10月5日~10月7日>(山大から産婦人科:1名)

<10月3日~12月26日(毎週月曜日のみ)>(川大から麻酔科:1名)

<1月20日>(川大から「岡山大学方式内視鏡講習会」に参加 救急科:1名)

<1月30日~1月31日>(広大から放射線科:1名)

<2月10日>

『第1回 災害医療ミニワークショップ -エマルゴを使ったシミュレーショントレーニング-』実施

<2月11日>

『第2回 災害医療ミニワークショップ -エマルゴを使ったシミュレーショントレーニング-』実施

地域医療人材育成講座の医療コミュニケーション実習をお手伝いしました！

医学部3年次の学生を対象としたこの実習は、学生が模擬患者(SP)との医療面接を実際に行い、SPからのみならず、ファシリテーターの教員や学生からフィードバックを受けるというものでした。歯学教育部門の吉田がファシリテーター役としてお手伝いしました。学生は頭で理解していることと、実際に実施するのでは違うというギャップを体験したようで、これからの学習への動機づけになったのではと感じました。学生全員がSPとの医療面接が体験でき、とても有意義な時間を学生と共有できました。

エマルゴベーシックインストラクターコースに参加しました！

1月14日に鹿児島市医師会病院で開催された「エマルゴベーシックインストラクターコース」に参加しました。1日のプログラムで、午前中は受講者への指導方法等のレクチャー、午後は実際にシニアインストラクターとともにエマルゴコースを行いました。事故発生時から救護まで、各部署での連携の大切さを学びました。今回、岡山大学でセンター教員を含む4名がベーシックインストラクターの資格を取得しました。

【シミュレーター使用実績 ③】

<採血・点滴シミュレーター' Adam Rouilly' IVトレーニングアームキット>



皮膚及び静脈への穿刺をリアルに再現したトレーニングが可能。医学部生の臨床実技入門における採血・静脈留置演習、病棟での採血トレーニング(呼吸器外科・山根正修先生)、保健学科での学生実習(保健学科・近藤真紀子先生)などに使用している。平成24年度4月以降は研修医の導入トレーニングにも使用予定。

<X線ファントム>

(歯科レントゲンシミュレーター)



デンタルレントゲン撮影を想定したレントゲンシミュレーター。各撮影部位によるフィルムとの角度や投影角など基本的なレントゲンテクニックが修得できるよう、顎模型に解剖学的特長とX線造影性を付与されている。歯学部5年生の授業や診療参加型臨床実習、委託学生(歯科衛生士)の撮影実習などに利用。(歯科放射線学分野・久富美紀先生)

< iStan > (高機能人体シミュレーター)



ワイヤレス高機能患者シミュレーター。薬剤師フィジカルアセスメント講習会や成人シミュレーターの体験学習の際に利用。1/24に利用者講習会を開催し、臨床機能の紹介、シナリオモードの操作・調整方法等を中心にトライアル形式で学ぶ。今後はシナリオ作成モードの講習会の開催を予定。

<エコーガイド 中心静脈カテーテル挿入シミュレーター CVC穿刺挿入シミュレーターⅡ>



鎖骨下静脈、内頸静脈への刺入、ガイドワイヤー、及びカテーテル挿入などCVC穿刺挿入技術習得のためのトレーニングが可能。'CVC穿刺挿入シミュレーターⅡ'は透明解剖モデル・ブラインドパット・超音波パッドの3種類のパッドがあり、実践に即したトレーニングや合併症の確認ができる。現在、HCUに教育用エコーとセットで貸し出しており、学生実習で利用している。(救急科・山内英雄先生)(※写真のエコーはHCU備品)

お問合せ: 医療教育統合開発センター (管理棟5階)

内線: 6597

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/cdmhe/>